

イワウメヅル *Celastrus flagellaris* Rupr.

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 1、総点 11。温帯性のつる性木本で、愛知県では個体数が少なく、存続の基盤が脆弱である。

【形態】

落葉性のつる性低木。枝は細く、今年枝は黄緑色、前年枝は紫褐色で、微細な乳頭状突起を密生し、托葉が刺となって宿存し、節から気根を出してはい上がることもある。葉は互生し、長さ 1~5cm の柄があり、葉身は円形~長卵形、長さ 2~5cm、幅 1.5~4cm、先端は急鋭頭~鋭尖頭、基部は浅心形~くさび形、葉質は薄く、辺縁には細鋸歯がある。花期は 5~6 月、雌雄異株で、葉腋に雄花は 1~3 個、雌花は 1 個ずつつき、花は黄緑色で径約 6mm である。果実は球形、径約 6mm、熟すと 3 裂し、中に橙赤色の仮種皮に包まれた種子がある。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根（小林 82578, 2004-8-31）、3 東栄（小林 33452, 1989-4-15）、7 設楽東部（小林 63846, 1998-5-9）、8 鳳来北東部（芹沢 81473, 2007-6-3）、10 鳳来北西部（小林 68120, 1999-12-21）、11 作手（小林 55284, 1994-11-26）。

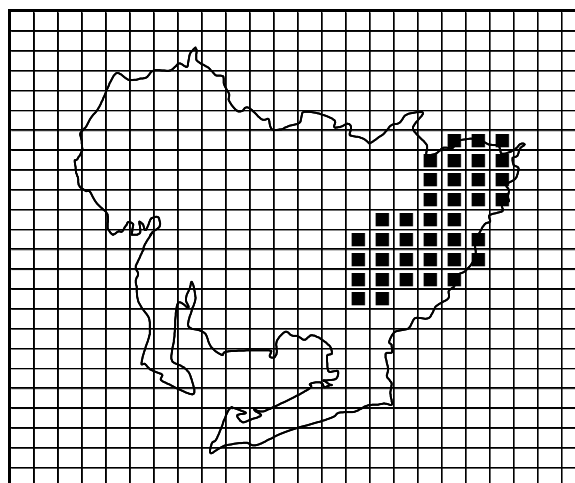
【国内の分布】

本州（関東地方以西）、四国、九州に生育する。

【世界の分布】

日本、朝鮮半島、中国大陸東北部、アムールに分布する。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の岩礫地などに生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

愛知県では東栄と鳳来北東部に群生地があるが、それ以外ほどの場所も個体数が少なく、また生育状態もよくない。東栄町の群生地は町道沿いの岩場であり、道路拡幅等の際に失われる可能性がある。鳳来北東部では草刈りが行われるため、開花するのはごく一部である。

【保全上の留意点】

工事等の際には、注意が必要である。

【関連文献】

保木本 I p.259, 平木本 II p.39, 平新版 3 p.129, SOS 旧版 p.64.